

令和7年度

ひきこもり支援者向け研修

活動事例紹介

行政編

支援団体編



ひきこもりの状態にあるご本人やそのご家族を支える人材を育成する研修を下記のとおり開催いたします。

対象者

都内に活動拠点があり、ひきこもりの状態にあるご本人及びそのご家族を支援する団体や行政機関等の支援者の方、今後支援業務に従事する予定の方

研修内容

『活動事例紹介』

① 行政編

日時：令和7年11月20日(木) 10時00分～12時00分

講師：①中野区 地域支えあい推進部 地域包括ケア推進課

②板橋区 福祉部 生活支援課

内容(予定)：中野区、板橋区におけるひきこもり支援事業の取組みについて

② 支援団体編

日時：令和7年11月20日(木) 14時00分～16時00分

講師：一般社団法人ひきこもりUX会議 代表理事 林 恭子氏

内容(予定)：●当事者理解、当事者に支援を届けるには
●「ひきこもりUX会議」の紹介、運営上の課題・工夫

※講義内容は変更になることがあります。

受講者数

各40人程度

先着順のため、定員に達し次第締切いたします。結果は全員に通知します。

実施方法

オンライン研修（Zoomで開催します）

受講料

無料

主催

東京都 本事業は東京都から(公財)東京都福祉保健財団が受託しています。

申込方法

受講を希望する研修ごとに当財団ホームページ下記URLから申込フォームに必要事項（氏名・所属名・電話番号・メールアドレス等）をご登録ください。研修詳細は裏面をご覧ください。(URL：https://www.fukushizaidan.jp/124hikikomori/)

東京都福祉保健財団 ひきこもり



講師紹介（支援団体編）

一般社団法人ひきこもりUX会議 代表理事 林 恭子氏

高校2年で不登校、30代半ばまで断続的にひきこもる。信頼できる精神科医や同じような経験をした当事者たちと出会い少しずつ自分を取り戻す。2012年から、“当事者発信”を開始し、イベント開催や講演、研修会の講師などの当事者活動をしている。「ひきこもり支援にかかる支援ハンドブックの策定に向けた調査研究事業」委員／東京都ひきこもりに係る支援協議会委員等。著書に『ひきこもりの真実―就労より自立より大切なこと』（ちくま新書）他がある。

受講者の声（令和6年度アンケートより）

① 行政編

取り組みや実際の支援等分かりやすかったです。他自治体の先進的な取り組みを知る良い機会になりました。

② 支援団体編

とても先進的かつ今の時代に必要なテーマで、興味深かったです。メタバース居場所に参加して体験してみようと思いました。

申込にあたっての注意事項

- ①受講にあたっては、Zoomの視聴環境の確保が必要です。詳細は当財団ホームページをご覧ください。受講料は無料ですが、視聴環境確保のための経費（受講端末・インターネット通信料等）はご負担ください。本研修ではビデオをオンにして受講していただきます。受講者の画像・氏名が共有されることを了承の上、お申し込みください。
- ②申込には、受講者ごとに個別のメールアドレスをご登録ください。メールアドレスで個人の識別を行います。同一の申込フォームに同一のメールアドレスで複数の申込があった場合、情報が上書きされ、正常な受付ができませんのでご注意ください。申込から1週間が経過しても受講決定メールが届かない場合は、恐れ入りますが事務局へご連絡ください。
- ③本研修を初めて受講する方が優先となります。
- ④申込時にご登録いただいた個人情報については、当財団個人情報の保護に関する要綱に基づき適正管理を行い、本研修業務以外の目的で利用することはありません。
- ⑤研修当日に受講できなかった受講者は、後日、オンデマンド（録画映像）で受講することができます。あらかじめオンデマンド受講を希望する場合は、その旨、申込時にお申し出ください。

問合せ先



公益財団法人東京都福祉保健財団

人材養成部福祉人材養成室 ひきこもり支援研修担当

〒163-0719 東京都新宿区西新宿2-7-1 新宿第一生命ビルディング19階
Tel 03-6302-0319 e-mail：hikikomori@fukushizaidan.jp
URL：https://www.fukushizaidan.jp/124hikikomori/

東京都福祉保健財団
ひきこもり